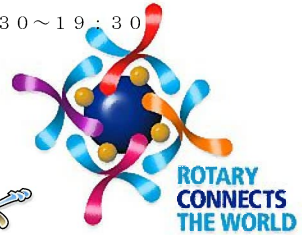


皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp
 ◇点 鐘 畝 徳治会長
 ◇ソング 奉仕の理想



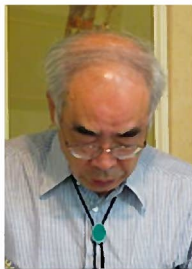
ロータリーは世界をつなぐ

第1480回例会 令和元年7月11日(木)

【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんにちは。今日は少人数ですが、頑張りたいと思います。学問のすすめの続きですが、面白そうな所をとという事で、前回は出だしの部分を紹介しました。



学ぶと学ばざるとによって人間の差異ができると言っていますが、どんなことを学ぶべきかと言っているのでしょうか。次の段を読んでみます。学問とは、ただ難しき字を知り、解し難き古文を読み、和歌を楽しみ、詩を作るなど、世上に実のなき文学を言うにあらず。これらの文学もおのずから人の心を悦ばしめ、ずいぶん調法なるものなれども、古来、世間の儒者・和学者などの申すよう、さまであがめ貴むべきものにあらず。古来、漢学者に世帯持ちの上手なる者も少なく、和歌をよくして商売に巧者なる町人もまれなり。これがため心ある町人・百姓は、その子の学問に出精するを見て、やがて身代を持ち崩すならんとて親心に心配する者あり。無理ならぬことなり。畢竟(ひっきょう)その学問の実に遠くして日用の間に合わぬ証拠なり。

文学的な事を否定しています。それでは何かという事を次に言っています。

されば今、かかる実なき学問はまず次にし、もっぱら勤むべきは人間普通日用に近き実学なり。たとえば、いろは四十七文字を習い、手紙の文言、帳合いの仕方、算盤の稽古、天秤の取扱い等を心得、なおまた進んで学ぶべき簡条ははなはだ多し。出だしは簡単な事を言っていますが、簡単には終わりません。

地理学とは日本国中はもちろん世界万国の風土道案内なり。究理学とは(現在の物理学)天地万物の性質を見て、その働きを知る学問なり。歴史とは年代記の詳しきものにて万国古今の有様を詮索する書物なり。経済学とは一身一家の世帯より天下の世帯を説きたるものなり。修身学とは身の行ないを修め、人に交わり、この世を渡るべき天然の道理を述べたるものなり。

右は人間普通の実学にて、人たる者は貴賤上下の区別なく、みなことごとくたしなむべき心得なれば、この心得ありて後に土農工商おのおのその分を尽くし、銘々の家業を営み、身も独立し、家も独立し、天下国家も独立すべきなり。

この段落の締めくくりです。私なりの補足を

しますと、学ぶべきことは、もっぱら人間普通日用に近き実学であると言っています。この辺が基本だと思います。実際に役立つもの。実学実学を学び、土農工商各々が各自の分を知り、銘々の家業を営み、身も独立し、家も独立し、天下国家も独立すべきと言っています。

前は学問が大事だと言って、今回は何を学ぶべきかという事で、解し難き文を読むんじゃないと言っています。段落の後ろの方で、身も独立し、家も独立し、天下国家も独立すべきなりという事で、独立という言葉が出ますが、身も独立しという事が、更に進んで逆に独立してないのはどういう状況かという事が分かりやすく書かれています。今日は実学が大事だという段落を読ませて頂きました。

【幹事報告】

山田 利明



1. 米山記念初学会より特別寄付金感謝状
 2. 秩父地区暴力排除推進協議会より定期総会の案内
 3. 秩父音頭まつり実行委員会より協賛のお願い
- 名誉会員の方についてですが、この後、お二人の方の所に伺う予定になっています。

米山特別寄付

宮前 英雄会員 26回



会長テーマ

畝 徳治会長

「誇りと自信を持って

ロータリー活動をしよう」

R I 会長テーマは「ロータリーは人々をつなぐ潜在能力を持っている」と理解出来ます。最近、ロータリークラブの輝きが以前より弱まっている気がします。実語教に「玉磨かざれば光無し。光無ければ石、瓦たり」とあります。誇りあるロータリーも「磨かざれば光無し。輝き無ければ魅力（人の心を引く事）無し」です。

クラブの輝きの元は何かと言えば、会員の活動そのものです。会員が誇りあるロータリー精神の本、懸命に活動する事で自ずとクラブの輝きが増すと考えられます。クラブの輝きを取り戻すべく、私は全会員が誇りと自信を持ってロータリー活動を遂行するよう働きかけます。そこで、会長テーマとして「誇りと自身を持ってロータリー活動を遂行しよう」を掲げます。

そのために

1. 楽しいクラブ、魅力的なクラブをつくる事で、会員増強を進めます。
2. 会員と家族が共に楽しさを分かち合えるクラブ運営を目指します。
3. クラブの魅力は会員の活動から生ずるものです。会員の相互理解を深める事で、会員の自信の深め、クラブの実践力を向上させます。

クラブ内においては

1. 会員が例会に出席して、楽しく思える話題を提供する。
2. 親睦例会では、次の例会が楽しみになるような話題を提供する。
3. 会員の相互理解が一層深められるよう、会員卓話を計画的に実施する。
4. 会員増強を目指して、ロータリー情報の深掘りを進める。
5. 会員卓話、会員増強協議等の準備が充分行えるように早めの理事会において卓話者の指名や協議事項の詳細化を行う。

クラブの外に向かっては

1. クラブに対し地域の方々の理解が増すよう地域に感謝される奉仕事業を行う。
2. ロータリー精神を深く学ぶため、他クラブの例会に出席する機会を作る。
3. 会員が職業奉仕をしっかりと理解し実践する事で自信と誇りを高め、地区の負託に応えられる体制づくりを進める。



出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
11	0	5	2	63.6%